十二月月浪能特別会

十二月十二日（日）
午後一時始

13:00

景清

従者 小倉健太郎
人丸 高橋憲正
シテ 今井泰行

ワキ 工藤和哉

後見 前田尚廣
藤井雅之
和久荘太郎
藪克徳

大鼓 佃良勝
小鼓 幸正昭

地謡 東川尚史
大澤宏司
田中順
友

笛 松田弘之

太鼓 金井雄資
大三川淳雄
坪
高橋喜美雄
亘

14:20

骨皮

シテ 野村万蔵

アド 野村拳之介
立衆 河野祐紀
立衆 野村万之丞
立衆 能村晶人

〈休憩十五分〉

15:00

卒都婆小町

シテ 田崎隆三

ワキ 森常好
ワキツレ 舘田善博

後見 高橋章
武田孝史
小倉伸二郎

大鼓 國川純
小鼓 大倉源次郎

地謡 佐野玄宜
亀井雄二
野月聡

笛 藤田朝太郎

太鼓 佐野由於
亀井保雄
小林与志郎
佐野登

17:00

乱

シテ 當山淳司

ワキ 野口敦弘

後見 宝生和英
登坂武雄

大鼓 大倉栄太郎
小鼓 飯冨孔明

地謡 内藤晋
小林飛能
水上優也

笛 梶谷英樹
一噌幸弘

太鼓 中辰巳満次郎
東村孝光太郎
山内崇生夫

〈休憩十五分〉

終演予定　十七時四十五分頃

演目の解説

能「景清」（かげきよ）

景清父存命中人に従と目を初白ねた日向と

清は、娘に、命人を、身、盲者に会す尋ね食葉奥行、食葉

泣のはずへ明の居人れに景目来、盲人目尋ついを向

く清丸ら屋判目が里さ身、盲て娘存命中人中に従

泣景人乗藁が盲人き諭のりはっのの丸に

く八対に戻し乞なにまて清のま人中」（ひ

故島面いりま食か尋す知の境す丸に（かげきよ）

郷でをた、すこっね。らこ遇。はひと

へのの果景乞。そたる二ぬとを最従と

帰戦た清食里景かと人故を独初者目

っ語しのの人清と、が、尋白にを会

てりま心身はで言途さ他ねす尋つい

行をす情を二あわ中ら所るるねれた

き聞。を恥人っれのにへと乞た日い

ま　人察じをた、藁奥行、食藁向と

能「卒都婆小町」（そとばこまち）

高野山の二人の僧が都に上る途中で、僧には教えを説く。僧は、気づいて、朽ち果てた木に腰掛け、卒塔婆に休む。老女が、仏教の教えを説く。僧は、自分の過ぎ去った人生を思い、人生の無常を嘆く。すると、僧の夢に、小野小町の霊が現れ、僧に、自分の過ぎ去った人生を語り、僧の問いに答えて、小野小町の霊は、僧の夢から覚めて